

Fitness Industry Association

NEWS



Fitness
Industry
Association
of Japan

発行:(一社)日本フィットネス産業協会
TEL.03-5207-6107
FAX.03-5207-6108
E-mail. info@fia.or.jp
http://www.fia.or.jp

Topics

トピックス

FIA 賀詞交歓会 開催

2018年1月19日、東京・弘済会館にてFIA賀詞交歓会が開催された。毎年恒例となっている会であるが、今回は過去最高の人数が参加。フィットネス運営企業やそのほか関連企業の人々が集い、それぞれの近況報告や、名刺交換を行う場面などが見受けられた。情報交換やビジネスを広げるよい機会となっていることを感じた会は、終始なごやかな雰囲気であった。

会は、まずFIA会長を務める株式会社ルネサンス吉田正昭氏の次のような挨拶から始まった。

「高齢化社会に入り、私たちの仕事の重要性は日に日に高まっています。きちんと結果を出していくためには、品質を高め、さらに同業者のみならず異業種の人々とも手を組み、総合力で取り組んでいくことが大切だと思います。そのためにも、FIAの存在意義を改めて見直し、その価値をしっかりと高めていこうと考えています」

さらに吉田氏は、昨年、24時間営業や、ある専門に特化したサービスを提供する施設など、様々なタイプの小型施設がオープンしたことを挙げた。すでに施設を運営してい



吉田 正昭氏

る企業のなかには、この状況を脅威と捉えている人もいるだろう。しかし、施設のタイプが増えることは、それだけ多くの人々のニーズに応えられることにもつながる。同氏は、フィットネスへの参加率が高まるきっかけになると、前向きに捉えていることを語った。

続いて登壇したのは、厚生労働省 人材開発統括官付能力評価担当参事官 瀧原章夫氏。同氏は次のように、日本企業に浸透しつつある「働き方改革」について取り上げた。



瀧原章夫氏

「『働き方改革』においてキーとなるのはワークライフバランス。“ワーク”だけでなく“ライフ”を楽しむことを人々に推奨していきたいと思います。その流れが進めば、フィットネスクラブに行こうと考える人も、もっと出てくるはず。むしろ私たちとしては、その影響により、フィットネス業界で働く人々のワークライフバランスが崩れないか、心配です。この業界で働くことを目指す若い人々のためにも、すべての企業さまに、バランスのとれた働き方を目指してほしいと思います」

一般的に「働き方改革」や「ワークライフバランス」については、「しっかり休むこと」ばかりが取り上げられがちだ。ときにはそのことについて「日本人のよいところは勤勉性でしょう」といった意見をいただいたこともあると瀧原氏はいい、次のように語った。

「休みましょう＝働かない」ということではなく、私たちは“いい働き方をしよう”ということをお伝えしたいのです。ロボットやAIができることはそちらに任せ、私たちは、人間にしか使えない、想像力やハート(おもてなしの心)を活かせる部分に力を

入れていってほしいと思います」

瀧原氏は、フィットネスクラブ・マネジメント技能検定についても触れ、「これまでの技能検定は、どちらかというとモノづくりの部分の評価するものが多かったため、初めて対人サービス部門でこのような検定をつくってくれたことはたいへんうれしいです」と言い、検定が始まったことにより、フィットネス業界がさらに発展していくことを期待していた。

瀧原氏に続いては、経済産業省商務情報政策局 ヘルスケア産業課 西川和見氏が登壇。同氏は、健康機器の1つとして海外で人気となっているFitbitを例に挙げるとともに、このようなウェアラブル機器の日本における利用率の低さを指摘した。ウェアラブル機器を身に着けている割合は、日本では1%程度。カリフォルニアなどにおいては15~20%にもなるといふ。同氏はこの割合を、もっと高めていきたいと語った。



西川和見氏

さらに、西川氏は業界内外で様々な健康への取り組みが進んでいるといい、ある介護事業所の例を紹介。介護事業所がサポートできる期間は限られており、その後、日常生活でもいかに自身で運動を続けられるかが、健康を維持する鍵となる。その事業所では、あらかじめクラブのサービスもパッケージ化し、提供しているのだという。

「おそらく皆さんの施設にもいろいろなところから一緒に取り組もうというアプローチがあるのではないかと思います。業界の発展のためにも、積極的に新たなネットワークづくりに取り組んでいただきたいと思います。その結果、“日本初”の取り組みが世界へ広がっていくことを期待しています」(西川氏)

3人に続き、スポーツ庁健康スポーツ課 課長補佐である松崎智一氏も登場。一般的にアスリート支援などのイメージが強いスポーツ庁であるが、同課では、一般の人々を対象に、週1回以上運動している人々の割合を、現在の42.5%から65%にまで引き上げることを目標に取り組んでいる。

「まずは運動へのきっかけづくりとして、出勤途中や休み時間などに歩いてもらうことを推奨したいと思います。ただ歩くだけでは続かないと思いますので、神社巡りや、公園を歩こうなど、楽しく歩ける取り組みを推奨していく予定です」

松崎氏は東京オリンピック・パラリンピックはじめ、これから日本で開催されるビッグスポーツイベントを機に“見る”スポーツから“する”スポーツへと人々を駆り立てていきたいと目標を語った。

その後は、賛助会員企業などによる企業や商品・サービス紹介などが行われ、最後までにぎやかな会となった。参加者の明るい表情からは、多くの人々から刺激を受け、決意新たに今年をスタートさせようという意気込みが伺えた。



CES2018 レポート

2018年1月9日からラスベガスでCES2018(コンシューマー・エレクトロニクス・ショー)が開催した。もともと白物家電の展示会として発展したが、第51回目を迎える今回の注目分野は、5G、スマートシティ、AI、IoT、AR、VRで、世界から3,900社以上が最新技術や商品・サービスを展示し、900以上のスタートアップ企業も、ビジネスアイデアを披露した。参加者は世界150ヶ国から18万人以上。7,000以上のメディアが世界で一斉に最新テクノロジーを報じるとあって、世界最新の情報が共有される場となっている。次より、その模様を紹介することとしたい。



近年、進展を続けるフィットネス関連テクノロジー。2011に展示会場内に「フィットネステックゾーン」が誕生して以来、「フィットネステック」としてエリアが拡大するだけでなく、今回は「ヘルス&ウェルネス」カテゴリーとして、「フィットネス&ウェアラブル」「デジタルヘルス」「スリープテクノロジー」としてそれぞれ分野で商品やサービスが進化していた。そのほかにも、スポーツテクノロジーや、スマートホーム、VR、AR、AIなどの分野との融合も見られた。

フィットネステック動向に関するカンファレンス「フィットネステックサミット」では、フィットネス業界関係者の参加も数多く見られた。

フィットネステックで見られた動向としては、2017年から2018年にかけての1年間で、テクノロジーやデータ活用のために、人や施設が存在が改めて見直された点にある。2017年のフィットネスサミットでは、登壇者も参加者もテクノロジー分野の人がほとんどだったのに対して、今年は、トレーナーが話題に挙がることも多く、24時間ジムの世界チェー

ンであるエニタイムフィットネスのCTOや、マシンメーカー大手であるライフフィットネスのイノベーションディレクターなど、いわゆるフィットネス業界関係者も数多く登壇。会場からの質問でも、トレーナーやクラブ運営者が積極的に手を挙げていた。

パネルディスカッションの内容も、2017年は、センサーの進化でウェアラブルが多様化し、とれるデータやフィードバックの方法が多様化したことが論点の中心だったが、今年は、データの継続取得のためにいかにデータ取得を自動化できるか、様々なデバイスから得られるデータを、どのように組み合わせ、何を分析・記録・フィードバックしていくのか、それによって誰のどんな課題に対応していくのかに論点が移っていた。

さらに、昨年はテクノロジーの進化で分析やコーチング機能までいかに実現するかに焦点が置かれていたが、今年は、よりサービスのペルソナを明確にすることや、人が介在することでいかにデータに意味や価値をもたせて商品・サービスとして定着～浸透させるかに焦点が移っていた。

テクノロジーが進化するほど、事業開発にもサービス提供にもトレーナーをはじめフィットネスの専門家や指導者の知見が求められている。

【注目テクノロジー】

▶ 日々の生体データの自動入力が可能に

■ Healbe

リスト型ウェアラブルのセンサーで、肌から組織内の水分量などを計測。摂取カロリーと消費カロリーを自動的に記録していく。

■WOR(I)D Helo

リスト型のウェアラブルセンサーで血圧、呼吸数、疲労レベル、心拍数を計測。指を置くことで心拍変動の計測や心電図の表示も可能。付属計測器で血糖値も計測できる。近くアルコール摂取量の自動計測も可能になるという。

■Spire

下着やウェアに付ける使い捨てセンサーで、呼吸パターンやストレスレベル、睡眠、心拍変動、活動量が記録できる。センサーの耐久期間は1年半。3個、8個、15個セットで販売しており、一度ウェアに着ければ、洗濯も乾燥もそのままOKであり、複数のセンサーのなかから着用しているセンサーを自動検知してデータをとってくれる。水着にも装着可能で、泳いだ距離やスピード、そのときの生体情報も得られ、水泳アプリswim.comと連携して泳力分析や、練習量の履歴、疲労レベルなどの分析からコーチング機能もある。

■LIFEFUELS

ボトルのセンサーにより、体内に補給した水分量とビタミン・ミネラル、プロテインなどの量をデータ化。1日の水分補給のタイミングと量をモニタリング&コーチングしていく。



■ZHOR Tech

シューズのかかと部分のセンサーで、姿勢分析、動作分析、身体の揺れ、疲労傾向や足を滑らせる状態検知などで主に作業向け安全管理機能を充実させている。



■e-VONE

シューズに取り付けられたセンサーが、足の運びや角度をモニタリング。足の接地角度から転倒の可能性を察知するとともに、GPS機能がついており、転倒した場合、その場所と状況が自動的にセキュリティ会社に発信され、救助が手配される機能付き。工事現場など作業向けと、高齢者向けに開発されている。



▶シューズ型ウェアラブルによる動作解析が浸透

■ORPHE

シューズに取り付けられたセンサーが、ウォーキングやランニングにおける足の接地角度や、足のプロネーション、足運びの高さ、ストライドの幅などをビジュアル化。足の動きを光や音に変える技術を搭載したスマートフットウェア。



■ UNDER ARMOUR HOVR

シューズに取り付けられたセンサーが、走った距離、スピード、さらにケイデンス、ストライドなどを自動計測&記録。レベルや目的に合わせてコーチング機能もある。



▶脳にアプローチするフィットネス

■muse

ヘッドセット型のウェアラブルで、音楽によるメディテーションと、そのときの脳波をデータを取得、脳の状態をアプリで確認できる。



■NuCalm

中脳から脳波にアプローチするサプリメントと音響により、ストレスを和らげ、集中力を高めることができる。20分で睡眠2時間分のベネフィットが得られる。



■reliefband

リストバンド型のセンサーが、脳に働きかけて、吐き気を和らげる。乗り物酔いや、つわり、VRなどによるめまいなどにも有効。



■halo

センサーが脳に働きかけて、反復練習によるスキル取得を加速化できる。オリンピックアスリートや、楽器などの演奏家を目指す人が活用している。



②会社名:株式会社ヤマト

所在地:東京都台東区
理 由:会社内都合
入 会:平成22年1月
商 材:設備・ろ過装置総合工事

(2)後援名義使用申請

事務局より下記の後援名義使用許可申請が提出されていることが説明され、審議の結果承認された。

1. 株式会社UBMメディア

主 催:株式会社UBMメディア
運 営:同上
催事名:ダイエット&ビューティーフェア2018
スパ&ウェルネスジャパン2018
期 間:2018年9月10日(月)~12日(水)
東京ビッグサイト
内 容:毎年開催のヘルス&ビューティー分野の総合展。

2. 日本ダンス技能向上委員会

主 催:日本ダンス技能向上委員会
運 営:同上・ミズノ(株)
催事名:日本ダンス大会
開 催:平成30年6月9日(土)・10日(日) 市川市文化会館
内 容:ダンス、及びチアダンスの全国規模のダンスコンテスト及びセミナーの同時開催。ダンス及びチアダンスの社会的地位向上とダンス技術の向上、普及推進も目的とする。出場資格:高等学校公認部活チーム。

3. 「フィットネス・スポーツ業界リクルートフェア」後援名義申請

主 催:株式会社クラブビジネスジャパン
催事名:2019年度新卒者向け「フィットネス・スポーツ業界リクルートフェア」

Board Meeting

理事会報告

FIAは平成30年1月19日(金)弘済会館(東京都千代田区)にて第187回理事会を行い理事監事16名が出席した。

議事1 審議・決裁事項

(1)入退会

下記の入退会申請があり審議の結果いずれも承認された。

1. 入 会

賛助会員

①会社名:ゲンダイエージェンシー株式会社

所在地:東京都新宿区

資本金:7億5,159万円

営業内容:広告宣伝企画制作事業。

スポーツクラブ紹介ポータルサイト「@FIT

SEARCH」(※Niftyが直営したサイトを継承した)

②会社名:株式会社 RASC

所在地:東京都港区

資本金:

営業内容:広告代理店

ポスター・チラシ・パンフ類企画制作

イベントプロモーション企画運営等

2. 退 会

賛助会員

①会社名:ニフティ株式会社

所在地:東京都新宿区

理 由:フィットネスクラブ紹介事業撤退のため。

入 会:平成26年12月

商 材:「@Niftyスポーツクラブ」サイト

開催日:東京会場 2018年3月13日(火)TOC五反田メッセ

大阪会場 2018年3月17日(土)TKPガーデンシティ
レミアム心斎橋

名古屋会場 2018年3月27日(火)TKPガーデンシティ
PREMIUM名駅西口

内 容:フィットネス業界で働くことの魅力と可能性の大きさについて、ゲスト講師及びフィットネスビジネス誌編集長がわかりやすく伝え、さらに各企業がブースを構えて、入社希望者に直接説明を実施。

対 象:2019年卒業見込みの学生(大学、短期大学、体育系専門学校を卒業見込みの学生)

議事2 報告・協議・承認事項

=検定事業委員会=

委員長により以下事項について報告・協議が行われた。

報告1. 12月17日(日)検定試験(1級学科のみ)の結果

受験者数116 合格者数 17 合格率14.7%

正答率標準偏差 29以下 2(人)

30-39 17

40-49 34

50-59 46

60-69 12

70以上 5

試験運営について

各会場問題なく運営された。(金沢会場のみ大雪のため交通の便悪く、次回会場変更予定。)

試験結果要因分析について。

①試験実施決定告知、申込受付開始~締切、試験日までが大変短期間であった。

②1回目で過去問の開示ができなかった。(試行試験問題の開示は厚労より不可の指示があった。)

上記①②の理由から、試験に対する学習不足は否めず学科試験については当初の計画合格率(40%)に至らない結果となった。次回以降はこの要因はなくなり、想定の合格率が見込めるとされる。

③正答率の標準偏差は平均点を頂点にしてほぼ相似形をなしており、問題の難易度分布は概ね適正と考えられる。(あと10点以内で合格の者が受検者の4割を占めた)実務能力が問われる実技試験の合格率は試行試験の傾向からも6割程度予想される。

報告2. 本年度受検者数 計画・見込み

	計画数	1回目実績	2回目見込	年度計
1級支配人レベル	61	116	17	116
2級Mgrレベル	370		300	300
3級従業者	930		430	430
3級学生	2,090		660	660

報告3 普及活動報告。

2級及び3級企業向けについて

- ①2級受検者増加策。FIA正会員企業への告知・訪問。
- ②正会員・賛助会員・未加盟会員500クラブへ(挨拶文+ポスター+リーフレット)送付済。

- * 2級、3級の試験回数が減ったため、技能検定委員の人件費等が予定より少ない。
- * 今年度中のテキスト更新見送りのため、原稿・編集代は削除。検定事業合計で、約-5,050千円。FIA賃料負担分1,500千円を差し引くと-3,550千円となる。

報告5. 第二回試験準備状況について。

- 1) 会場 全国7会場予約済
- 2) 試験問題等・年末より各技能検定委員へ協力依頼作成開始。
- 3) 試験運営体制

- ・全国7会場の総括責任者、運営責任者、監督官、補助員及び会場設営等手配依頼済
- ・試験問題、解答用紙の運搬及び印刷等を委託先に依頼済。

今後の主なスケジュール

- 1月10日(水) 第二回検定試験(2月25日)受検受付開始
- 1月18日(木) 第二回検定試験、1級実技及び2級、3級団体受検申込み締切
- 1月24日(水) 第二回検定試験 2級、3級個人申込み締切
- 2月15日(木) 1級実技論文締切
- 2月25日(日) 第二回検定試験(1級実技、2級・3級学科、実技)実施
- 3月9日(金) FIA理事会(第二回実施報告)
- 3月26日(月) フィットネスクラブ・マネジメント検定 1級2級3級合格発表
- * 可否の決定は、FCM検定委員会(執行担当)にて検討後、厚労省へ提出し最終決定される。

3級学校への普及活動について(学校数) 検定制度のカリキュラム化決定=3 同 カリキュラム化検討=17
 セミナー・説明会検討=6 訪問・説明=31 他案内送付等=約300
 検討中17校の共通する阻害要因は①学習補助教材が必要(テキストは難度が高い)②テキストの4章以降の授業講師の手配の2点である。①についてはワークブック等作成必要②については1級技能士(場合によって2級技能士)の派遣を検討し、提案する。

③学校向けの説明会開催

大阪	1月11日(木)	4校・1社・8名
東京	1月17日(水)	4校・16名
名古屋	1月16日(火)	2校・3名

④FIAのホームページ充実及びFacebook開設及びネット周知活動
 ・FIAの検定事業主体に学生向けのリスティング広告等計画化。

報告4. 試験収支・年度見込みについて

試験事業(試験実施)収支見込み -9,490千円
 普及事業(テキスト等)収支見込み 4,440千円
 * FIAへの賃料負担は予算2400千円からインフラ整備(サーバー、プリンター)及びHP保守料(検定普及部分)等を計上、1500千円に減額。
 * 事務局は普及業務(テキストの受発注、在庫管理及び学校・企業への普及営業等)も兼務するが、人件費は全額試験事業に計上されている。

4) 各技能検定委員会の開催は以下の予定である。

委員会名	対象	日時	主な内容
FIA検定事業委員会	委員	1月19日(金)	事業実績・計画
FCM検定委員会	問題作成・採点担当	2月6日(火)	第二回採点について
FCM検定委員会	執行担当	3月8日(木)	第二回合否について
FCM検定委員会	面接官担当	2月7日(水)	第二回面接について
FCM検定委員会	運営担当	2月13日(火)	第二回運営について

討議事項3点を説明し討議の結果以下のように決した。

- 1、試験解答解説本の発行
 学習教材として、解答の解説本を発行する。(ただし、受験対策本とはしない)こととした。
- 2、カリキュラム化に伴うテキスト購入学校割引
 カリキュラム化に伴いテキストを一括購入する学校には定価の1割引で販売する。

3、来年度の試験実施月につき、以下2つの時期候補を説明し、協議の結果7・12月開催とした。

1回目7月、2回目12月	2回目3級学生受検者も合格者として就職活動できる
1回目8月、2回目翌2月	業務閑散期のため従事者が受検しやすいと思われる

確認事項 以下事項を事務局において見解としたことを報告した。

- 1、「介護施設内の運動施設(予防運動)での実務経験は受検資格としては不十分である」
- 2、受検資格上の実務経験
 「2級受検の際の実務経験について、3級合格者は2年とすることが決定しているが、

合格後の実務経験年数ではない)(例:入社1年半以上で3級合格者は、次回の2級受検可能とする)

理事確認事項

「エントリーシートへの記載」その後の状況について。(理事企業ヒアリング)

・「準備中」回答が主。・スペース都合上資格欄に「フィットネスクラブ・マネジメント技能検定を取得もしくは受検予定の方は併せて記載下さい」付記を検討

・2020年度以降について

検討中・現行シートへの追記が困難で改訂を検討中(時期未定)など。

改めて、申し合わせ時の例文を確認すると共に、各社で推進することとした。また、これとは別に各社ホームページにFCM検定サイトへリンクするバナーを準備することとした。

=社会・生涯委員会=

委員長より(1)について報告を(2)について審議の為の説明を行った。

(1)消費者団体申入れの件(情報共有・続報)

千葉県所在の消費者団体より加盟企業への到来案件。

①募集特典キャンペーンに際し、条件・特典適否別の支払い総額等を特典表示の半分以上の文字ポイントで記載すべき。

②退会手続きの規約。電話・郵送・代理人手続きを認めるよう規約を変更すべき。

上記申入れに対する加盟企業再回答要旨。

①今後文字ポイントは公的な広告表示ガイドラインに則る。総額等の表示は店ごと・会員種別ごとに金額

(2)FIAマスターズスイミング選手権大会2018の募集結果及び来年度予定

2018年3月3日(土)・4日(日)千葉県国際総合水泳場。

1月17日エントリー締め切り。428チーム 2,024名 3,299種目(昨年422チーム 2,164人 3,476種目)

※来年の同大会会場エントリー結果。平成31年3月16日(土)17日(日)確定。

※実行委員会から要請の「競技役員講習会」受講促進を呼び掛けた。

(3)賀詞交歓会の予定と募集状況

2018年1月19日(金)16:30-18:00 賀詞交歓会 弘済会館

参加申し込み数 210名

式次第・来賓等 資料添付

(4)FIA関西マネジメントセミナー開催予定について

開催予定日:3月16日(金)

会場:ペイコム総合体育館 研修室

概要:フィットネスクラブ事業関連のビジネスセミナー

・セミナー数:3~4講座

・対象:クラブマネージャー相当以上

・同時開催:

会員懇親会

賛助会員企業ブーススペース設置

検定窓口コーナー(テキスト販売含む)設置検討

=調査研究委員会=

委員長より研究終盤の予定について報告を行った。

定年を迎えた60才以上or実質リタイアした65才以上のシニア男性を対象に下記の事項をリサーチする。「健康に対する意識/日常生活の実態/フィットネスクラブに対するイメージ・フィットネスクラブへの入会意向、阻害要因」

が異なり多岐に亘るので困難。

②従来より来店困難なケースには対応している。退会意思・精算金有無などを遺漏なく確認するための規定であり合理的であるので、消費者利益を一時的に害していない。

※公的ガイドライン:消費者庁「打ち消し表示に関するガイドライン」

(2)平成30年度定時総会開催日程の件(審議)

平成30年度定時総会を下記により開催することにつき諮った処異論なく決定した。

6月15日(金)弘済会館

14時30分~15:30 講演

15時30分~16:45 総会(理事監事任期終了に伴う選任を含む)

17時 ~ 懇親会

=事業委員会=

委員長に代わり事務局より関係事項について報告を行った。

(1)FIA全国スポーツクラブ駅伝2017の募集結果及び準備状況

大阪大会:2月 3日(土)万博記念公園競技場

11月6日~1月7日の間各クラブにて募集。

集計結果:成人の部1,267人 KIDSの部 32人

12日(金)実行委員会開催、運営体制確認を行った。

26日(金)競技場現地最終打合せ予定である。

グループインタビューを実施し、課題解決のための調査の深堀を実施。

・インタビューは古屋理事中心に実施

・グループインタビュー

人数12名(加盟クラブ会員の協力)

場所:FIA事務所

今年度内での報告書作成を目指す。

=組織基盤拡充委員会=

委員長より現在計画されている予定について報告を行った。

北陸フィットネス協会との共催セミナー実施

日時:平成30年1月29日(月)10時30分から

場所:グランディア小松エアポート

内容:

①勉強会「最新のフィットネス事情」

講師:松村事FIA務局長 10:30~11:30

②賀詞交換会 11:30~13:00

③研修会「フィットネスクラブに必要なエクスペリエンスデザイン」

13:00~14:30

講師:株式会社ディライトデザイン

代表取締役 朝岡崇史氏

参加費:

①海外トレンド勉強会 参加無料

②賀詞交換会 各施設 1名無料(追加1名につき500円)

③エクスペリエンスデザイン勉強会参加料 1名2,000円

5月下旬に広島フィットネスクラブ協との共催セミナーを開催するに当たり、現在日程と内容を協議中。

Information

お知らせ

1. FIAクラブマネージメントセミナーin関西

- 開催日:平成30年3月16日(金)
- 会場:ベイコム総合体育館(兵庫県尼崎市)
- 主催:一般社団法人日本フィットネス産業協会
- 特別協賛:大塚製薬株式会社
- 主なスケジュール
 - 9:30:受付開始
 - 10:00~17:40:セミナー
 - 18:00~20:00:情報交換会

セミナーA-1 10:00~12:00

総合型業態の魅力伝えるための販促手法の効果的アプローチを探る

(パネリスト)

ゲンゼスポーツ(株)

営業戦略部マネージャー 野田 将太郎氏

(株)コナミスポーツクラブ

業務推進本部業務推進企画部部長 上柿 仁司氏

野村不動産ライフ&スポーツ(株)

経営企画室副室長 春山 哲也氏

業態の多様化がますます加速していく今日、総合型業態の運営や経営に携わる方にとっては、潜在顧客に対するこの業態の強みや魅力の訴求を一層強化することが求められます。これは、クラブの存続と成長を支える原点ともいえる課題です。このセミナーでは、新規顧客獲得のための販促手法(SNSの有効活用や見学会時のセールス対応)に関する事例を

このセミナーでは、第1回検定試験で3級・2級・1級それぞれ各級において求められた内容について、実際の問題をもとにあらためて確認することで、この先の本検定制度が求めるフィットネスクラブマネージメントレベルの方向性を確認いただきます。

セミナーA-2 15:40~17:40

総合型フィットネスクラブをより魅力的にする提供サービスとは~サプライヤーサイドの視野から見るこれからの総合業態の魅力の創造~《パネリスト》

(株)オーエルシージャパン 代表取締役社長 佐々木 康昌氏

(株)R-body project 事業企画・渉外 ディレクター /(株)マグマスパジャパン 取締役 峯 信二氏

(株)ブラボーグループ フィットネスシステム事業部

セールス&コーチングマネージャー 村松 恵太氏

総合型業態の重要な強みとして活かせるポイントは、バリエーション豊かなエクササイズプログラムやトレーニングをサポートするハード、さらにはリラクゼーション環境の提供等を通して、多様顧客ニーズに対応するサービスアイテムや、モチベーションを高める環境が用意されていることにあります。

フィットネス施設への多様なサービスや環境の提供を企業理念やビジネスの目的に据えているのは、施設提供側だけではありません。関連するメーカーやエクササイズの輸入や開発、または環境をプロデュースするコンサルティング企業など、フィットネスクラブの創造をサポートするサプライヤーの皆様も同様です。

このセミナーでは、少し視点を変えて、サプライヤーの皆様側のからの視点で、既存の総合業態を含むフィットネス施設提供業に感じる課題や、その課題解決を踏まえた上で、目指していくべき成長の方向性や、アピールしていくべき魅力等についてのヒントをご提案いただきます。

紹介すると共に、より有意義なアイデアを求めて、パネリストとご参加いただいた皆様でディスカッションをする機会です。

セミナーB-1 12:45~13:45

欧州フィットネストレンドから学ぶグループエクササイズプログラムの魅力

(一社)日本フィットネス産業協会 事務局長 松村 剛

ヨーロッパと日本の総合型フィットネスクラブにおける共通点の一つに、グループエクササイズプログラムの魅力がとても重要な役割を担っている点が挙げられます。

このセミナーは、世界最大のフィットネスショーケースと言われている『RIMINIWELLNESS(リミニウェルネス)』の視察や、欧州クラブ視察から読み取るフィットネスクラブにおけるグループエクササイズの魅力と強み、そして指導者の重要性についてあらためて見つめなおす機会としてご提供します。

13:50~14:05 特別協賛 大塚製薬提供セミナー

セミナーC-1 14:20~15:20

フィットネスクラブ・マネージメント技能検定試験の振り返り

講師:フィットネスクラブ・マネージメント技能検定事務局

総括マネージャー 荻沢 靖彦

フィットネスクラブを支える人材のマネージメント技能(知識、技術)を国家資格として国が担保する画期的な制度としてスタートしたこの技能検定。フィットネスクラブにおけるマネージメントは多岐にわたる業務です。

この業界共通の課題であった、求められるべき技能とレベルを明確にし、全体像を明らかにすることがこの検定制度の大切な狙いです。

FIA会員情報交換会

会場:ベイコム総合体育館 1階

レストラン『グローブテラス』

関西地区におけるフィットネス関係者皆様の情報交換会です。

フィットネスやヘルスケア周辺のサービス提供業態の多様化が加速し、サービス提供のあり方をあらためて見直す必要に迫られていませんか?

そのためには、より多くの関連情報を入手したり、様々な考え方に触れることも重要かと思えます。是非、この懇親会にご参加いただき、そうした情報収集にお役立てください。

●情報交換会のみのご参加も大歓迎です。

《参加費:》4,000円(消費税込)

※FIAHP、トップページのFIAクラブマネージメントセミナーのバナーをクリックして詳細をご確認ください。

(<http://www.fia.or.jp/>)

<セミナー参加費は以下の通りです。>

セミナー	FIA会員	非会員
A-1	4,000円	6,000円
B-1	2,000円	4,000円
C-1	無 料	
A-2	4,000円	6,000円
1DAY参加 (全講座受講可)	8,000円	13,000円

THE IHRSA ASIA-PACIFIC PULSE



October 2017

The PulseはIHRSAのアジア版ニュースレターです。日本語版はIHRSAとの提携に基づき、FIA(一社)日本フィットネス産業協会より、一部抜粋して会員の皆さまへ配信しております。

新年あけのワークアウトラッシュに備える4つの戦略

By Marianne Aiello(マリアンヌ・イエロー)
(翻訳: 松村 剛)

新しい年になると、新規加入者が一気に増えますよね。こうした状況においてクラブのスタッフがオーバーワークにならないよう、そしてもちろん大切なロイヤルカスタマーをしっかりと抱え込むために、我々は“新年の課題解決”をここに提案します。

てこられたメンバーとの区別です。それぞれに対して異なるアプローチが求められるからです。

いつも通り来館されていたメンバーには、クラブが彼らのロイヤルティを大切に捉えていることをシンプルに知らせる必要があります。

1月の混雑はロッカールームや駐車場の不足を引き起こしますか？

そのような一時的な不便は、いつも来られるメンバーの不満を誘発したり、遠ざける要因には、実はならないということをおぼろげに認識する必要があります。

たとえば、解決の一つの方法としては、勤務時間外のピークタイムにスタッフが来館することを最小限に抑えるように促すことなどが挙げられるでしょう。

「私たちの職員の多くが複数のクラスを受講します」と、Sports Club South Carolinaでチャイルドケアとプログラムディレクターを務めているアンドレア・メリッティは語ります。

「しかし、1月は職員は受講を控えます。すべての職員は、もしもクラスが一杯になった場合は、そのことを最高の喜びと捉え、喜んで自分のスポットをメンバーに譲ります。」

一方、しばらく来館されなかったメンバーには、しばらく遠ざかってしまったということに、あらかじめ気づかせなければなりません。

そのためにクラブができることは、シンプルに「久しぶりにお越しいただいてうれしいです」と、レセプションにおいて声をかけることです。新年にクラブが電話をし、それらの古くから親交のあるメンバーのことを、クラブが忘れてはいないということを伝えることが肝要ですね。

クラブはメンバーに成果の可視化を保障するために最大限の尽力をするべきであり、さらに我々は、メンバーに成果を可視化できた時、彼らがモチベーションを強め、参加を継続することを知っている。”

Fred Hoffman (Fitness Resources Consulting Service)

1. 何よりもまず、この課題はとても良い課題であるということを肝に銘じること。

どの程度の時間、エネルギー、そしてクラブオーナーのリソースを新しいメンバーシップに注ぐと考慮しても、そのあまりにも多くの新規メンバーに対峙して思考が焦るばかりでしょう。

「我々はこの課題を“対処すべきこと”から、“素晴らしいできごと”、“我々を奮い立たせてくれること”とまったく捉え方を変えるのです」

こう話すのは、メリーランドのMerritt Athletic Clubでエリアプログラムマネージャーを務めるマリア・ミラーさん。

2. 期待のマネージメント

いくつかの新しいクラブのメンバーは、多くのことをあまりにもスピーディーにこなそうとして、大切な“ハード”を失っています。あなたのクラブのスタッフは、新しく入会した会員の方々に対して、実現可能な長期的ゴールをもって共通理解を持つことがとても重要です。

3. スタッフが再び帰ってきたメンバーをしっかりと特定できるようなサポートが必要

レギュラーの会員とそうでない会員を区別することが大切です。言い換えれば、ずっと継続してこられているメンバー、つまり“新年の課題解決対象顧客”の対象ではないメンバーと、長期間の不在から戻っ

4. 一年を通して会員をクラブに惹きつけるためのプラン

目まぐるしい新年明けの混雑に対応している時にあってもクラブはいかにして新規メンバーが一年中クラブに通い続けていただくようにするための取り組みに向けて働くべきなのです。

入会直後から、通年会員になっていただくための取り組みが始まります。

「私たちの新規メンバーに対するクラブ利用の習慣化の取り組みは、会員を非常にモチベートするものであり、一年を通してエクササイズすることのベネフィットに関して教育しています」。

こう話すのは、O2 Fitnessのチーフオペレーションオフィサーである、Shawn Stewart(ショウン・ステュワート氏)。

「入会後に提供する2種類のインシヤルプログラムデザインセッション終了後、我々は毎月ごと、そして四半期ごとにレビューを行います。

「あなたのクラブでは、顧客とのエンゲージメントを高め、また継続性をさらに強化することが可能です。」

「私たち、Merritt Athletic Clubでは、顧客の一年間を通じてのモチベーションを維持するための複数のプログラムを用意しています」。

マリア・ミラー氏はその具体例を以下に挙げています。



①Fit Camp(フィットキャンプ)

入会したお客様をウェルカムし、アカウントビリティーパートナーを得ていただくためのスモールトレーニングプログラムです。
(※アカウントビリティーパートナーとは、お互いにサポートしあい、励ましあうパートナーのこと)

②Power of 9 Program(パワー・オブ・9・プログラム)

毎月9回ワークアウトすることを奨励するフリープログラムで、毎月、月間表彰があります。特別賞は、プログラムに参加しているメンバーに授与されます。

Marianne Aiello (マリアンヌ・イエロー)

IHRSAのデジタルコンテンツ
マネージャー



彼女の役割は、記事を書くこと、ソーシャルメディアを監視すること、IHRSAのデジタル戦略を作成することが含まれていますが、彼女の仕事の最も重要な部分は、世界中のIHRSAイベントをカバーすることです。彼女が仕事をしていないときは、どこかのサイクリングクラスで見つけることができるでしょう。

New Clubs 出店情報

2月のオープンクラブ

- ジエクサー・リフレッシュスタジオ sopraシャポー船橋**
所在地: 千葉県船橋市本町7丁目1-1
シャポー南館5F ●FIA会員
- FASTGYM24百合ヶ丘**
所在地: 神奈川県川崎市麻生区百合丘1-21
小田急マルシェ百合ヶ丘2階
TEL: 044-954-7291
- FASTGYM24 新小岩**
所在地: 東京都江戸川区松島4-46-8 2階
TEL: 0120-208-025 ●FIA会員
- エニタイムフィットネス芝浜松町**
所在地: 東京都港区芝2-5-10 芝公園NDビル 1F
TEL: 03-6722-0112
- エニタイムフィットネス板橋**
所在地: 東京都板橋区板橋1-25-2
TEL: 03-6915-5961
- エニタイムフィットネス鳳**
所在地: 大阪府堺市西区鳳西町 1-86-5 1F・2F
TEL: 072-269-4702

- エニタイムフィットネス北花田**
所在地: 大阪府堺市北区北花田町3-17-6
ホリゾンビル 4F
TEL: 072-275-4380
- エニタイムフィットネス都島本通**
所在地: 大阪市都島区都島本通4-24-12
TEL: 06-6964-4630
- エニタイムフィットネス南草津野路**
所在地: 滋賀県草津市野路8-19-15 2F
TEL: 077-567-1602

Issue 記事

森永製菓、ドトールコーヒーとプロテインマシンを共同開発しスポーツクラブNASに設置

森永製菓株式会社は、株式会社ドトールコーヒーと、日本初のプロテインマシンを共同開発した。このプロテインマシンはシェーカーを振る必要がなく、ボタン1つで手軽にプロテインドリンクをつくれるマシンで、大和ハウス工業株式会社が運営するスポーツクラブ NAS 株式会社のフィットネスクラブ1ヶ所に2017年12月15日(金)より設置し、順次設置店を拡大していく。

一般的にプロテインドリンクは自分でシェーカーに粉と水などを入れてシェイクしてつくるが、このマシンではより手軽かつタイミングよくプロテインを摂取することができ、筋肉づくりのパフォーマンス向上にもつながる。同社では、今後も「プロテインマシン」を通じて、タンパク質を体感できる環境を提供していく。

(2018.1.5 日本経済)

健康促進、「ポイント」が活躍 県内自治体、独自に付与条件や特典、医療費の抑制狙う

長野県内の市町村で健康増進に取り組む住民にポイントを与え、商品券などと交換できる制度が広がっている。健康イベントへの参加はもちろん、市町村が独自の条件でポイントを用意して住民の参加を促す。国民健康保険の交付金を活用し、地域の医療費の抑制を狙う取り組みだ。健康寿命の延伸に期待がかかる一方、若年層の参加をいかに増やすかが課題だ。

上田市にある健康施設「ひとまちげんき・健康プラザうえだ」は、月に2~3回、計測した歩数に応じてポイントを交換し筋肉や脂肪量などを測って効果を確認するイベントを開催している。11日に同プラザを訪れた市内在住の70代の女性は、日々のウォーキングの記録で500ポイントを交換した。これまで1ポイント1円で市内の保育園に遊具を提供するサービスなどを利用してきたという。「普段から健康を意識して歩いているが、ポイント制度があるとさらに歩きたくなる」と語る。

(2018.1.13 日本経済)

中学の部活動、週休2日に スポーツ庁が指針案

スポーツ庁は16日、中学校の運動部の活動時間について平日は2時間、土日は3時間以内とし、週2日以上以上の休養日を設ける指針案を公表した。短時間で効率的な練習を促すことで生徒のけがを予防し、勉強など部活以外の機会を確保。顧問教員の負担も減らす。3月に正式な指針をまとめる予定だ。

(2018.1.16 日本経済)

北関東3県医療費、23年度2.4兆円、9年で2割増、 高齢化が影響、抑制策急務に

北関東の医療費が2023年度に合計で2兆4,860億円に膨らむ見通しであることがわかった。茨城・栃木・群馬3県の推計によると14年度に比べて22%増える。高齢化や生活習慣病などの影響でコストが膨らみ、自治体や企業、個人の負担は増す。4月から国民健康保険の運営主体になる3県は費用削減策により、推計値から総額で351億円の抑制をめざす。

17日に群馬県が医療費の推計を盛り込んだ「医療費適正化計画」(18~23年度)案を公表した。これにより3県の推計値が出そろった。23年度の医療費見通しの内訳は茨城が1兆272億円(14年度比21%増)、栃木が7,286億円(同25%増)、群馬が7,302億円(同21%増)になった。

医療費が増えるのは高齢化の影響が大きい。75歳以上の「後期高齢者」の医療費をみると、医療費全体に占める割合は3県とも全国平均並みの3割強に上る。各県とも年に5%前後増えており、4%程度の医療費全体の伸びを上回っている。

(2018.1.18 日本経済)

レオパレス21、格闘技で健康維持

レオパレス21は社員の健康維持を目的に、フィットネスに格闘技を取り入れた「ファイトネス」の講習会を実施した。ストレス解消や精神面の強化、部署を横断したコミュニケーションの創出が狙い。健康維持や生産性向上に役立てるといふ。

本社ビルのイベントスペースで18日夜、元格闘家の大山峻護さんを講師に招いて男女約25人の社員が講習を受けた。準備運動後、ジャブやストレートなど基本的なパンチの打ち方を学び、2人ずつのペアになってグローブとミットを使った本格的な打ち合いを試した。

講習は約1時間だったが、終了時には汗だくになって息があがった社員も。参加した女性社員(31)は「普段はまったく運動をしておらずしんどかったが、ストレス発散になった」と笑顔を見せた。講師の大山さんは2年半で業種問わず約60社に同様の講習を実施。「ファイトネスはストレス発散に効果的。普段話さないような他部署の人とも楽しみながらやれるのがよい」と話す。レオパレス21は今後もこうした取り組みを進める方針だという。

(2018.1.22 日経産業)

ティップネス、コンディショニングクラブ 「TIPNESS 日本橋 STYLE」を今夏オープン

株式会社ティップネスは、現在、福徳の森に隣接し再開発が進む日本橋エリアに、コンディショニングをコアサービスとした新業態を含む出店計画を複数進めている。

その内のひとつとして、2018年春に竣工予定の「(仮称)新東京武田ビル」にテナント出店するかたちで、コンディショニングクラブ『TIPNESS 日本橋 STYLE(ティップネス ニホンバシスタイル)』を、同年夏にオープンすることが決定。

『TIPNESS 日本橋 STYLE』では、「日本橋ハイパフォーマンス・ワーカーのコンディショニングクラブ」をコンセプトに、オン・オフ問わず、高いパフォーマンスを発揮し続けるためのサポートとして、効果・効率性の高いコンディショニングを実践する場を提供する。運動・食事・回復のトータルソリューションを通じて、知識習得によるセルフマネジメントの実現までを視野に入れたサービス展開を予定している。

(2018.1.22 日本経済)

フィットネス、今春に1号店、アパレルのジュン、東京・原宿 に、米ナイキとのブランド活用、「食」に続く第3の軸に

アパレルのジュンはフィットネススタジオの運営に乗り出す。パルコが今春にも東京・原宿で新設する小型商業施設「ゼロゲート」に1号店を出す。米ナイキと展開するスポーツブランドを活かし、若い女性などにアピールする。現在の約650億円の年間売上高の8割以上はアパレルが占める。衣料品市場全体の不振が続くなか、ブランド力を活かしてスポーツや飲食などの関連事業を伸ばす。

(2018.1.23 日経産業)

ホーチミン市、豊かになって肥満児ジム活況

ベトナム最大の都市、ホーチミン市。経済成長とともに富裕層や中間層が急増する街では、生活が豊かになるにつれて肥満が社会問題になりつつある。とくに子どもが深刻だ。同市のフィットネスジム「Sライフ」は肥満児専用のサービスを始め、話題になっている。

「腕をよく振って速足で歩くと長続きするわよ」。ぽっこりとおなかが出た小学生にトレーナーが付き添い、マシンでのウォーキングのやり方を指導する。格闘技、筋トレなども教えるほか、太りにくい身体をつくる食事法も教える。

ベトナム人はもともとやせ形が多く、平均身長も東南アジアで一番低いとされてきた。ほんの少し前まで貧しく、太ることが目標だったのに、お金をかけて一生懸命やせようとしている姿は、ベトナムの経済発展を不思議なかたちで象徴している。

(2018.1.26 日経MJ)

運動スタジオ多店舗化、東急不動産、シニアに器具使わず 筋トレ、川崎に2号店、沿線手がかりに全国で

東急不動産はシニア向けの運動スタジオを多店舗化する。東急田園都市線・宮前平駅近くのショッピングセンターに24日、2ヶ所目のスタジオをオープン。東急沿線を手始めに全国で多店舗化していく。団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になる2020年代半ばを見据え介護予防、認知症予防の需要を取り込む。

(2018.1.26 日経MJ)

ティップネス、コンディショニングプログラム「2WEEKS 美腸 ダイエット powered by ケロッグ」をスタート

株式会社ティップネスは、シリアル食品の世界シェアトップブランド「ケロッグ」を日本国内で展開する日本ケロッグ合同会社と提携し、「腸」にフォーカスしたコンディショニングプログラム『2WEEKS 美腸ダイエット powered by ケロッグ』を、2月2日(金)よりティップネス吉祥寺にてスタートする。また4月以降には、これをベースとした新プログラムをティップネス各店で順次展開していく予定だ。プログラムでは、「食事×運動」を採用。「食事」は食物繊維豊富なケロッグの新製品「オールブラン プレミアム」を、「運動」はティップネスオリジナルプログラムから、「腸マッサージ」や「腸ストレッチ」の種目をセレクトし、2週間集中的に取り組むことで、腸に対する生活習慣や腸内環境の良化を目指す。

(2018.1.30 日本経済)